

加賀市の取り組みについて

2021年10月22日

石川県 加賀市



市の概要

加賀市の位置・アクセス



位置 : 石川県の南西部、
福井県との県境に位置
面積 : 306 km²
人口 : 65,307人 (2021年9月30日現在)

**2024年春
北陸新幹線加賀温泉駅が開業予定**

観光

温泉

- ▶ 全国に知られる「山代」「山中」「片山津」の個性豊かな3温泉。年間180万人の宿泊客で賑わう。

歴史

- ▶ 大聖寺藩城下町「大聖寺」の長流亭や山の下寺院群の町なみ
- ▶ 日本遺産に登録された「加賀橋立」の北前船船主集落



山代温泉古総湯

産業

製造業

- ・部品メーカーがものづくり産業の中心
- ・チェーン製造や土産菓子の製造も盛ん

伝統工芸

- ▶ 日本を代表する色絵磁器「九谷焼」、生産額日本一の「山中漆器」

農業・漁業

- ▶ 日本最高峰のブドウ「ルビーロマン」や新鮮なカニ、甘エビ など



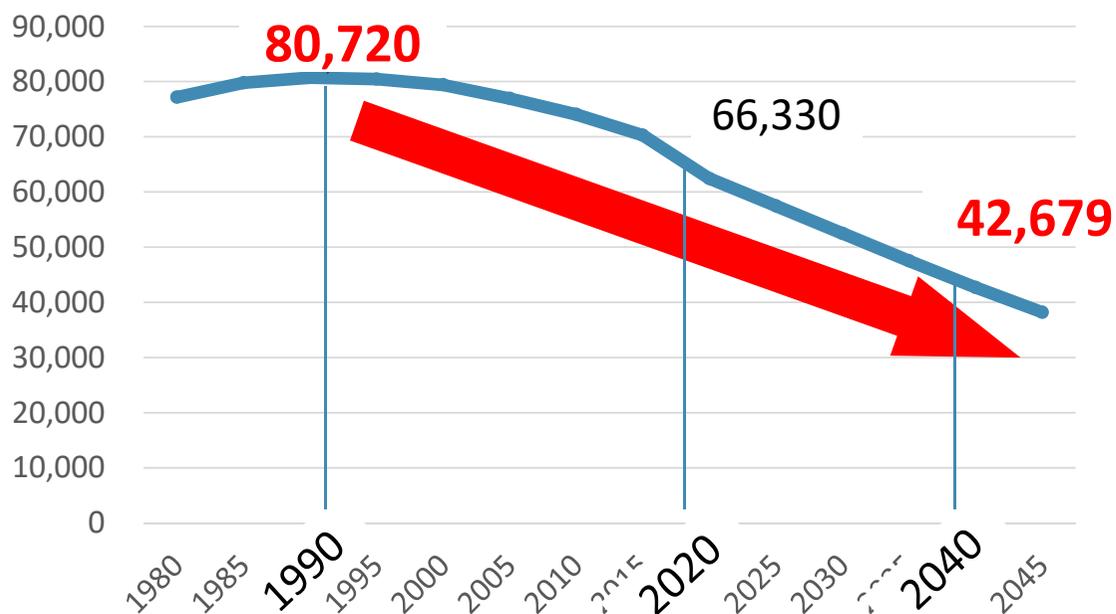
山中漆器



ルビーロマン

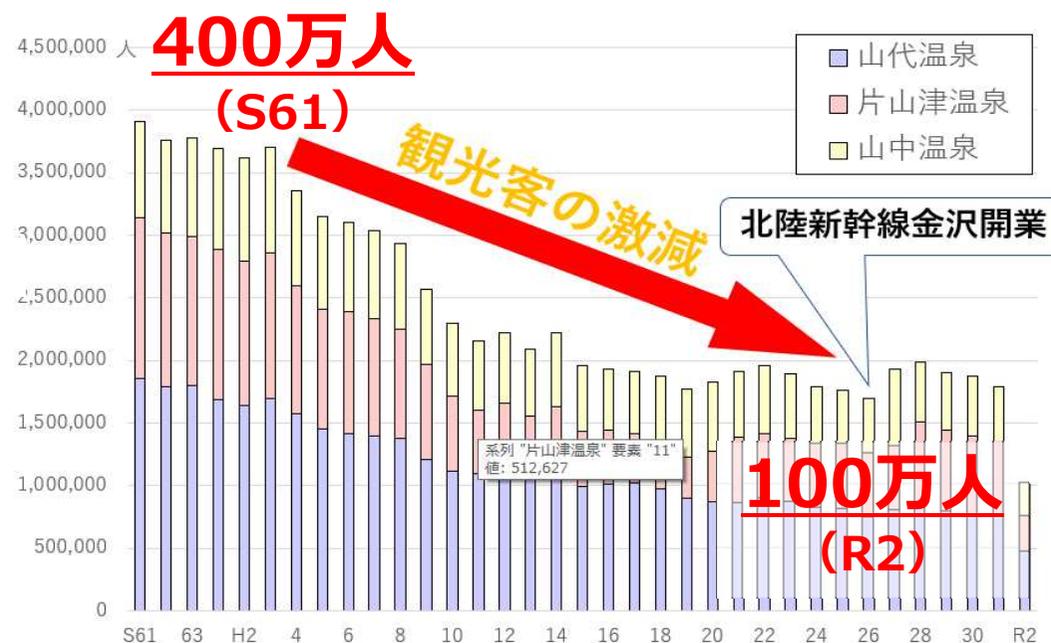
市が置かれている厳しい現状

2040年には人口が半減の危機



住基人口及び(2018.3月)国立社会保障人口問題研究所

観光入込客の減少



2014年に「消滅可能性都市」の一つに指摘された。

(全国1,799自治体のうち896団体が指摘を受けた。)

※「消滅可能性都市」・・・2014年に日本創生会議が指摘。2010年から2040年にかけて、20～39歳の若年女性人口が5割以下に減少する市町村

第4次産業革命を見据えた イノベーション施策の経緯

2016年度に、「第1回 地方版 I o T 推進ラボ」に選定

2016年度「地方創生推進交付金」の採択
スマート加賀 I o T 推進事業

I o T 人材の育成

先進テクノロジーの導入

成長戦略の二本柱

I o T など最先端の技術を活用できる人材による
市内企業の生産性や技術開発力の強化

実証フィールドとして産業が集積した
活力のあるまちを目指す。

イノベーション関連企業との連携協定と宣言（24件）

2018年 3月	(株)スマートバリュー	「ブロックチェーン都市宣言」
2018年 7月	スマートインクレージョン推進機構	「スマートインクレージョン推進宣言」
2018年10月	NPO法人みんなのコード	「プログラミング教育の推進」
2019年 1月	加賀市総合サービス(株)	「RE100を目指した自治体新電力の推進」
2019年 5月	(株)D&I	「障がい者のテレワークの推進」
2019年 5月	ANAホールディングス(株)	「アバターの活用」
2019年 7月	(株)トラジェクトリー	「ドローンの活用」
2019年 7月	MONET Technologies(株)	「MaaSの推進」
2019年 8月	合同会社DMM.COM	「3Dプリンターによる新たなビジネスモデル創出」
2019年 8月	(株)日本総合研究所	「スマートシティの構築」
2019年11月	NTTドコモ北陸支社	「5Gの活用」
2019年12月	(株)blockhive（現 xID(株)）	「行政サービスデジタル化の推進」
2020年 1月	京都大学大学院医学研究科／健康・医療・教育情報評価推進機構 ／リアルワールドデータ株式会社	「健康情報のデジタル化」
2020年 2月	(株)MaaS Tech Japan 他 9 事業者	「加賀MaaSコンソーシアムの設立」
2020年 3月	加賀市	「加賀市スマートシティ宣言」
2020年11月	静岡大学／一般社団法人みんなの認知症情報学会	「自立共生支援AIを活用した健康長寿のまちづくり」
2020年12月	xID(株)／(株)LayerX	「電子投票の実現」
2020年12月	(株)Spectee	「AIを活用した防災・減災行政の強化」
2021年 1月	(株)バカン	「避難所等に係る情報の提供」
2021年 2月	(株)ネオキャリア	「DXの推進」
2021年 3月	(株)DK-Power	「再生可能エネルギーを起点とした地方創生の推進」
2021年 6月	(株)REXEV	「加賀市版RE100と公用EVの有効活用」
2021年 7月	東京大学／(株)DK-Power／(株)フェリシモ	「カカオの森づくり」
2021年 8月	b t r a x , I n c .	「起業家育成事業を起点とした人材育成・イノベーション創出」

加賀ロボレーブ国際大会の開催

- ・アメリカ発祥のロボット教育プログラムである「ロボレーブ」の国際大会を2015年より毎年加賀市で開催。
- ・アメリカ、中国、台湾、シンガポールなど世界の国々から参加。

後援：総務省、経産省、文科省

協力：NASA【技術革新及び提携促進部門 部長 ジョセフ・ミナフラ氏】

【シャープ研究所 診断・予測グループ 知能システム部門 課長 ジョージ・ゴロスペ氏】

【エームス研究所 技術移転部 ソフトウェア公開監査役 キンバリー・ミナフラ氏】

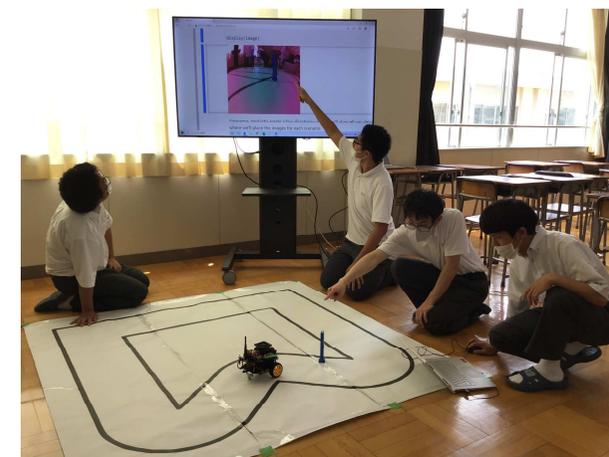
JAXA【有人宇宙技術部門事業推進部 部長 上森 規光氏】

日本で唯一のNASA「STARRプロジェクト」

- ・大聖寺実業高校の生徒がNASAからアドバイスをいただきAIロボットの研究を行っている。
- ・アメリカ、コロンビア、ポーランドなど世界各国から7校が参加



▲2019年加賀ロボレーブ世界大会



▲STARRプロジェクト

小中学校ICT整備（GIGAスクール構想の推進）

- ・児童生徒全員に1人1台PC端末の整備（2020年8月）
- ・高速大容量化の通信ネットワーク整備（2020年9月）
- ・Wi-Fiルータの貸与と通信料一部援助

プログラミング教育の推進

- ・2016年度に総務省「若年層に対するプログラミング教育の普及促進モデル事業」に採択
- ・**国の必修化（2020年）に3年先駆けて、2017年度から全**

小中学校で開始

- ・プログラミング教育の中核を担う**教員を養成し増員**



人材育成と産業創出の拠点施設

加賀市イノベーションセンターの開設

(2018年4月)



- ・スタートアップ企業等への無償オフィスの貸出し
(**11室中10室入居** R3.4現在)
- ・先端技術活用人材の育成に向けた講習等を開催



県内初 **5G基地局**の設置 (2020年3月)

◀新ビジネスを創出するコワーキングスペース

コンピュータクラブハウス加賀

全国初

(2019年5月)

- ・マサチューセッツ工科大学の協力のもとアメリカで発祥

テクノロジーに触れ隠れた才能を伸ばす

令和2年度**1,273名**が参加

毎週 水・木・金・土



「片山津わくわく工作部」がプログラミング大会で特別賞！



中学1年生がコンピュータクラブハウスの入館管理システムを構築！

官民連携による挑戦のフィールド

ドローンの活用

～Air Mobility管制プラットフォーム構築～

自動飛行に向け市内生活圏全域の

3Dマップを作成中

(R3年度完成予定)

デジタルツイン社会を実現

ドローン関連事業者を誘致・育成し、
就労機会拡大や、**雇用創出**事業者が集まる『**空の産業集積**』を実現



← 3Dマップ



ドローン首長サミット



「全国自治体ドローン首長サミット」(NEDO、経済産業省)

経済産業省等が主催する
「ドローン首長サミット」
に、先進自治体の代表として登壇

MaaSの構築

- ・「加賀MaaSコンソーシアム」の設立（2020年2月）
（MaaS Tech Japan、JR西日本、ヴァル研究所、日本旅行など10事業者）
- ・交通サービスの最適化
- ・MaaSアプリによるデジタルチケットやキャッシュレス支払い



全体コンセプト



地域住民

-----マイナンバーの活用*-----



観光客

移動の
利便性向上



移動や生活関連
情報の提供

加賀 MaaS システム



利用データの蓄積 ↓ 交通ダイヤ改善
新モビリティ導入判断



データ分析

- ・交通課題の発見
- ・MaaSの事業性の把握

スマート農業の推進 農業分野におけるデジタル化

・IoTでルビーロマン等の栽培データを見える化

・データ活用で「品質」と「商品化率」を向上

約50%から
約70%に向上

・ルビーロマン一房140万円の最高額で落札（令和3年）

ブランドイメージを構築

・新通信技術の通信実験（2020年6月、12月）

・奥谷梨団地で、長距離通信のWi-Fi技術（**Wi-Fiヒーロー**）を検証

将来的には市内のIoT整備のインフラに！

・自動給水管理システムの実証

・JA加賀に特別栽培米「加賀ほまれ」の食味向上・作業の省力化

実証事業への助成

自動給水管理システムイメージ▶



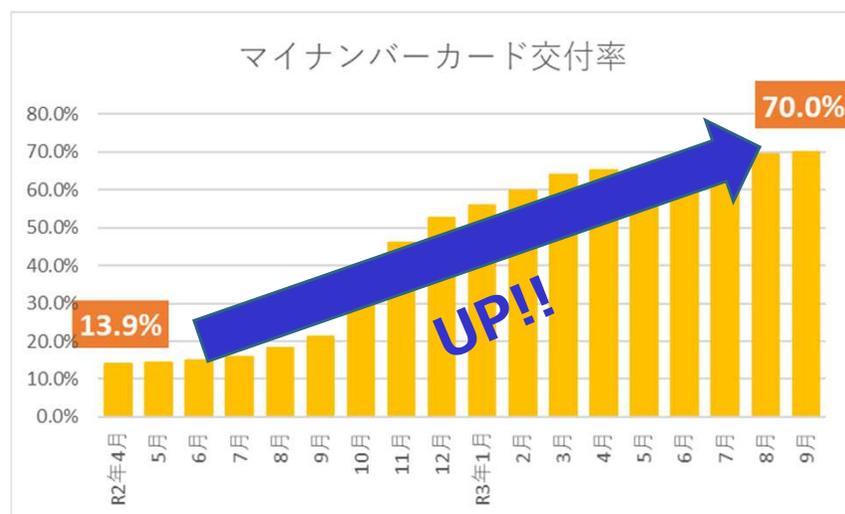
行政サービスのデジタル化の推進

行政サービスデジタル化の推進

電子国家・エストニアの
最先端技術を導入！

「マイナンバーカード」を活用して、スマホによる個人認証

- ・ 172件の行政手続きに電子申請を導入（R3.9.30時点）
- ・ ブロックチェーン技術を活用して市の施策に関する電子投票の実現



全国1位（市区）

加賀市民のマイナンバーカード申請率

79.7%

マイナンバーカード交付率

70.0%

R3.9.30 現在

デジタルデバイド対策

高齢者のデジタルデバイス解消に向けた取組

① マイナンバーカード対応スマートフォン購入助成を実施

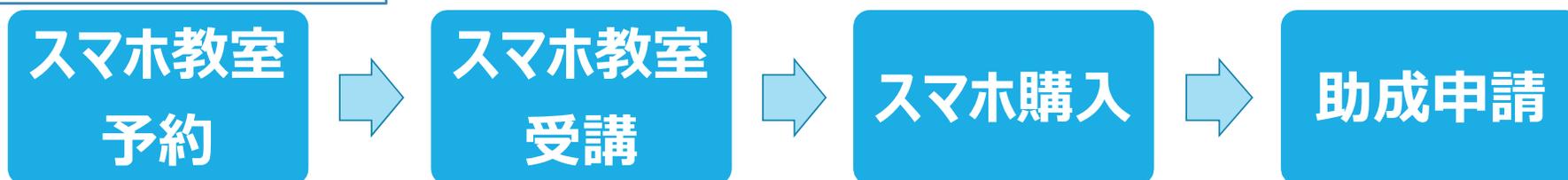
【助成対象者】

- ❑ 加賀市に住民票がある方
- ❑ 昭和32年4月1日以前に生まれた方
- ❑ マイナンバーカードを取得している、もしくは申請中である方
- ❑ マイナンバーカード対応スマートフォンを持っていない方

【助成金額】

- 一人当たり 5,000円（上限）

【助成までの流れ】



高齢者のデジタルデバイス解消に向けた取組

②スマホ教室の開催

【開催日時】

毎週金曜日 13:30～15:00

【場所】

加賀市イノベーションセンター

テーマ	開催回数	参加人数（延べ）
スマホ体験	7回	39人
防災メール登録	3回	15人
知っておいてほしいスマホ用語	1回	8人
ラインの使い方	予定	予定



高齢者のデジタルデバイス解消に向けた取組

③ スマホよろず相談所の開設

【開催日時】

毎週月・水曜日 14:00～16:00

【場所】

加賀市イノベーションセンター

【相談者数】

延べ 81人 (7月5日～9月29日)

【相談内容】

- ・文字や音を大きくしたい
- ・アプリの使い方 etc



高齢者のデジタルデバイス解消に向けた取組

・その他の取組

加賀市シニアスマホアンバサダーの募集

スマホ教室やよろず相談所に入っただく、ボランティアの市民の方を募集。

・今後の課題と展望

高齢者だけでなく、障がいのある方など、情報を得にくい方に対する支援の検討。
「地域の人が地域に教える」という仕組みの構築。

ご清聴、ありがとうございました。

